

交通安全に気をつけよう ～華南地区初の交通安全教室～



11月22日(水)に広州日本人学校低学年児童(1年生65人、2年生70人)を対象にした交通安全教室を雅瑪多国際物流有限公司さんに開催していただきました。

前半は本校の体育館で行いました。まず、横断歩道を渡る時に気をつける点について話を聞いた後、体育館に設営された簡易横断歩道を使って、安全に横断歩道を渡る演習を行いました。中国では、車は左から走行してくるため、信号が青になると「左、右、左」と確認して、手を挙げて渡ります。次に、横断歩道の真ん中辺りに来たら、今度は右側に注意をして渡るように教えてもらいました。その後、子ども達全員が横断歩道を渡る演習を行いました。どの子も真剣な表情で、教えてもらった通りに横断歩道を渡ることができました。日本では「右、左、右」と習ったけれど中国では逆になることに気づき、振り返りに書く児童もいました。また、中国ならではのケースとして、車の陰から走ってくる電動自転車の危険性についても車の模型や実物の電動自転車を使って説明してもらいました。

後半は場所を屋外に移して、トラックを使った「死角体験」を行いました。三人ずつ交代でトラックの運転席に乗り込み、人が見える場所や見えない死角について体験しました。ほとんどの子がトラックの運転席に乗るのが初めてで、目を輝かせながら学習する姿が印象的でした。子ども達は車の運転手はいつでも歩行者が見えるものだと思っていたようです。しかし、実際に運転席で見てみると車の前でしゃがんでいる人は見えないことに気が付きました。また、車の横や後方も運転手からは見えにくいこともわかりました。

交通安全教室を通して学んだことを活かし、子ども達が日本とは交通事情の大きく異なる中国で、これからも安全に生活できることを願っています。